

## 事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

### 1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社 八光							
代表者名	氏名	丸山 勝	役職名	代表取締役社長				
主たる事務所の所在地	長野県千曲市大字磯部1490							
主たる事業の分類	大分類	E 製造業						
	中分類	27 業務用機械器具製造業						
主たる事業の概要	医療用機械器具製造業							
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者						
原油換算エネルギー使用量	1765	kl	その他ガス排出量合計	0	t-CO <sub>2</sub>	自動車の台数	16	台

### 2 計画期間及び報告対象年度

計画期間	26	年度	～	28	年度	報告対象年度	28	年度
------	----	----	---	----	----	--------	----	----

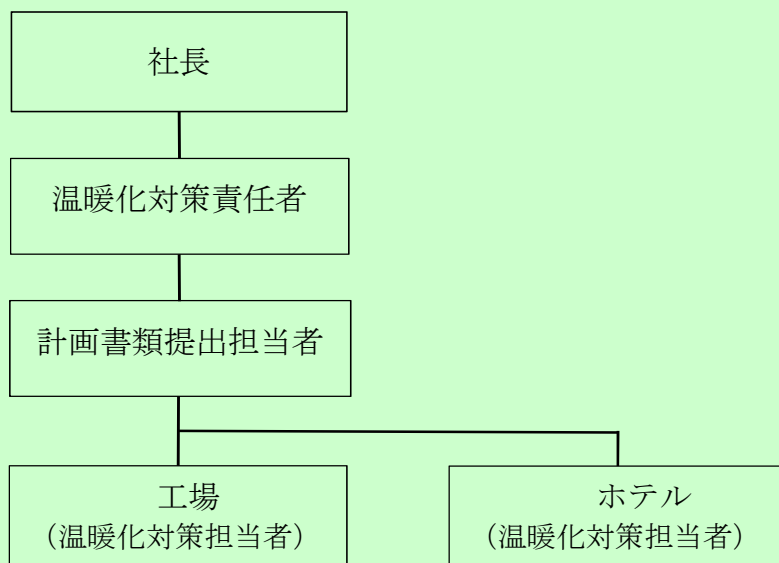
### 3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	閲覧可能な場所 : 本社工場内 時間 : 9時～17時 担当部署、連絡先 : 生産技術部 TEL 026-275-0121 内線243
<input type="checkbox"/>	その他	

#### 4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

株式会社八光は、長野県環境基本条例の基本理念に基づき、化石燃料、電気エネルギーなどのすべてのエネルギーが社会、経済、国民生活、更には地球環境に及ぼす影響を十分認識し、当社で働く一人ひとりが、企業活動の全域で使用するエネルギーの効率化・合理化に取り組む

#### 5 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	3,731	t-CO <sub>2</sub>	売上金額	42	単位	億円	
25年度	調整後排出量	2,956	t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	88.83	t-CO <sub>2</sub> /	億円	
目標年度	目標排出量	3,619	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	86.16	t-CO <sub>2</sub> /	億円	寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
28年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.00	%		
目標設定に関する説明	温室効果ガスの排出量目標を達成するため、以下の項目を重点的に取り組む ①蛍光灯照明のLEDランプへ更新 ②老朽化エアコンを省エネ効果の高いものへの更新 ③クリーンルーム空調機更新 ④冷凍冷蔵庫改修							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	3,578	t-CO <sub>2</sub>	売上金額	45	単位	億円	
	調整後排出量	3,558	t-CO <sub>2</sub>	原単位	79.51	t-CO <sub>2</sub> /	億円	寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
26年度	削減率	4.10	%	削減率	10.49	%		
排出量等の増減理由	LEDランプ、クリーンルーム空調機の更新、冷凍冷蔵庫の改修、又、管理標準による設備の管理維持等により電気使用量が減少し、また、売上金額も増加したことにより排出量で4.1%、原単位で10.5%削減することができた。							
第二年度	排出量	3,678	t-CO <sub>2</sub>	売上金額	47	単位	億円	
	調整後排出量	3,662	t-CO <sub>2</sub>	原単位	78.26	t-CO <sub>2</sub> /	億円	寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
27年度	削減率	1.42	%	削減率	11.89	%		
排出量等の増減理由	LEDランプ、老朽化空調機の更新、省エネパトロールによる対象設備の管理維持状況の監視を行うとともに、売上金額も増加したことにより、原単位で11.89%削減することができた。							
第三年度	排出量	3,856	t-CO <sub>2</sub>	売上金額	50	単位	億円	
	調整後排出量	3,834	t-CO <sub>2</sub>	原単位	77.12	t-CO <sub>2</sub> /	億円	寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
28年度	削減率	(3.36)	%	削減率	13.18	%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由	LEDランプ、老朽化空調機の更新、省エネパトロールによる対象設備の管理維持状況の監視を行い二酸化炭素排出抑制に努めたが、平成28年6月に新しく工場棟を竣工しエネルギー使用量が増加したため、目標排出量を達成することができなかったが、売上金額が増加したため、原単位で目標を達成することができた。 ※H27年度原単位、削減率について、売上金額を少数点第2位切上げ入力から、小数点第1位切上げ入力に変更した為、H28年度提出の報告書で訂正を行います。 27年度 原単位 訂正前 77.59t-CO <sub>2</sub> /億円 訂正後 78.26t-CO <sub>2</sub> /億円 27年度 削減率 訂正前 12.65% 訂正後 11.89%							

様式1号  
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位		
25年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /		
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位		
	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
26年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位		
	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
27年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位		
	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
28年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号  
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	13	t-CO <sub>2</sub>			
25年度						
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%
年度						
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%
年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%
年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%
年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号  
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		実績	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO <sub>2</sub> )	実施年度	推計削減量 (t-CO <sub>2</sub> )
1	エネ起	330299 空気調和設備の更新 (効率の向上)	26	22	26~28	47
2	エネ起	380752 LEDの採用	26	20	26~28	45
3	エネ起	120201 COP改善のための機器更新	26	11	26	11
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO <sub>2</sub>					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO <sub>2</sub>					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO <sub>2</sub>					
県が認証したクレジット	tCO <sub>2</sub>					
電気の利用に伴うもの	tCO <sub>2</sub>	775		20	16	22
低炭素電力の利用	tCO <sub>2</sub>					

様式1号  
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出状況 (所、t-CO<sub>2</sub>)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満	2	3,731	2	3,578	2	3,678	2	3,856
合計	2	3,731	2	3,578	2	3,678	2	3,856

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出状況 (t-CO<sub>2</sub>)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>	0	0	0	0
CH <sub>4</sub>	0	0	0	0
N <sub>2</sub> O	0	0	0	0
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF <sub>6</sub>	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数及び導入計画 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他				
合計				
自動車総数	17	17	16	16
次世代車導入割合				

様式1号  
(総括票)

1.4 中小企業支援

区分	内容
中小企業への省エネ診断	特になし
その他	特になし

1.5 交通対策

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	ノーマイカー通勤ウィークを計画し実施する(2回/年) (平成28年度:6/27~7/3 0.11t-CO2削減 11/28~12/4 0.08t-CO2削減転換通勤距離より算出)
公共交通機関の利用促進	特になし
来客者の交通対策	特になし
物流の合理化	特になし

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1	なし	
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	朝会資料(社内報2回/月発行)を活用し、全社員に省エネに関する周知・啓蒙を行い、省エネ意識を高める
第一年度実績	・朝会資料(社内報)にて、全社員へ省エネに関する周知及び啓蒙(7回/年) ・省エネパトロール(12月実施)を行いコンプレッサー、照明、エアコン等の維持管理状況の確認を行う
第二年度実績	・朝会資料(社内報)にて、全社員へ省エネに関する周知及び啓蒙(8回/年) ・省エネパトロール(8月,9月,2月実施)を行いコンプレッサー、照明、エアコン等の維持管理状況の確認を行う
第三年度実績	・朝会資料(社内報)にて、全社員へ省エネに関する周知及び啓蒙(12回/年) ・省エネパトロール(9月,11月実施)を行いコンプレッサー、照明、エアコン等の維持管理状況の確認を行う

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO <sub>2</sub> )
基準年度以前の取組み	ノーマイカー通勤ウィークを計画し実施(平成22年~平成24年)	1.4
その他		